

広島市子どもの読書活動推進計画（第三次計画） 目標及び重点施策の推進状況

資料 4

1 目標

図書館、学校等で「本を読むきっかけの提供」や「本を読むことの習慣化」に取り組み、自主的に読書をする子どもを増やします。

目標		前計画での実績 (平成 27 年度)	推進状況					目標値 (目標年度：令和 2 年度)
			平成 28 年度実績	平成 29 年度実績	平成 30 年度実績	令和元年度実績	令和 2 年度実績	
1 か月に 1 冊以上読書する 子どもの割合 ※1	小学校 5 年生	90.1%	89.0%	89.5%	89.2%	89.2%	—	93.8%
	中学校 2 年生	83.0%	81.1%	83.5%	83.1%	83.1%	—	87.3%
学校の授業時間以外に、普段 (月～金曜日)、読書をする 子どもの割合 ※2	小学校 6 年生	80.7%	79.1%	79.5%	82.9%	82.9%	—	84.7%
	中学校 3 年生	68.7%	67.4%	67.6%	68.7%	68.7%	—	74.1%

※1 「基礎・基本」定着状況調査（広島県教育委員会実施）による数値。目標値は、第二次計画の目標値（第 56 回学校読書調査（全国学校図書館協議会・毎日新聞社実施）の全国平均値）とする。

※2 全国学力・学習状況調査（文部科学省実施）による数値。目標値は、過去の平均伸び率を乗じて設定する。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校及び特別支援学校等における一斉臨時休業の影響を考慮し、「基礎・基本」定着状況調査（※ 1）と全国学力・学習状況調査実施（※ 2）は、中止となった。

2 重点施策

(1) 図書館における重点施策の推進状況

重点施策	計画策定時の状況 (平成 27 年度実績)	推進状況					目標 (目標年度：令和 2 年度)
		平成 28 年度実績	平成 29 年度実績	平成 30 年度実績	令和元年度実績	令和 2 年度実績	
青少年向けの図書の 展示会の実施	図書館での展示回数 全館で 6 回	図書館での展示回数 全館で 11 回	図書館での展示回数 11 館で 15 回	図書館での展示回数 11 館で 16 回	図書館での展示回数 11 館で 14 回	図書館での展示回数 12 館で 13 回	図書館での展示回数 各館年 1 回以上
家庭読書アドバイザー※3の派遣	派遣回数 14 回（家庭読書 アドバイザー 15 名）	派遣回数 36 回 （家庭読書アドバイザー 15 名）	派遣回数 48 回 （家庭読書アドバイザー 24 名）	派遣回数 23 回 （家庭読書アドバイザー 23 名）	派遣回数 22 回 （家庭読書アドバイザー 22 名）	派遣回数 9 回 （家庭読書アドバイザー 18 名）	派遣回数 45 回
DAISY（ディジー） 図書※4の整備	DAISY 図書・マルチ メディア DAISY 図書の 蔵書冊数 97 タイトル	DAISY 図書・マルチ メディア DAISY 図書の 蔵書冊数 133 タイトル	DAISY 図書・マルチ メディア DAISY 図書の 蔵書冊数 188 タイトル	DAISY 図書・マルチ メディア DAISY 図書の 蔵書冊数 198 タイトル	DAISY 図書・マルチ メディア DAISY 図書の 蔵書冊数 207 タイトル	DAISY 図書・マルチ メディア DAISY 図書の 蔵書冊数 211 タイトル	DAISY 図書・マルチ メディア DAISY 図書の 蔵書冊数 180 タイトル

※3 参観日などの機会に幼稚園・保育園・認定こども園等に出向き、読書の意義や楽しさ等を保護者に伝えるボランティアのこと。

※4 視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人向けに作るデジタル録音図書のことで、パソコンで専用ソフトを利用して再生する。マルチメディア DAISY は、文字情報や画像も同時に再生できる。

(2) 学校における重点施策の推進状況

重点施策	計画策定時の状況 (平成27年度実績)	推進状況					目標 (目標年度：令和2年度)
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	
読書活動の全体計画・年間指導計画の見直し	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	全ての小・中・高等学校で現計画を活用し、毎年見直しを行う。
本を読む力を育てる指導の充実	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 ※5 小学校 87.9% 中学校 84.4%	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 小学校 85.8% 中学校 92.2%	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 小学校 88.0% 中学校 92.2%	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 小学校 90.8% 中学校 85.9%	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 小学校 91.5% 中学校 90.6%	—	全ての小・中学校で様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導を行う。
「10(テ)オフ運動※6」と連携を図るなど家庭と連携した読書活動の推進	家庭における読書習慣の定着の奨励	全ての小・中学校にリーフレットを配布し、家庭における読書習慣の定着について奨励	全ての小・中学校にリーフレットを配布し、家庭における読書習慣の定着について奨励	全ての小・中学校にリーフレットを配布し、家庭における読書習慣の定着について奨励	全ての小・中学校で、生活リズムカレンダーの活用等により、家庭における読書習慣の定着について奨励	全ての小・中学校で、生活リズムカレンダーの活用等により、家庭における読書習慣の定着について奨励	全ての小・中学校で、リーフレットの活用等により読書効果を周知し、家庭での読書を促す。

※5 「基礎・基本」定着状況調査学校質問紙調査（広島県教育委員会実施）による数値。→令和2年度調査中止

※6 携帯電話・スマートフォン等の急速な普及や無料通信アプリの浸透等により、長時間使用による生活習慣の乱れや新たないじめなどの問題が台頭するとともに、家族とふれあう機会や自宅で学習や読書をする時間が減少している状況にあることから、規則正しい生活習慣の定着を図ることを目的として、遅くとも夜10時までには電源を切るなどの携帯電話・スマートフォン等の適切な使用を促進する取組を展開するもの。

(3) 関係機関の連携・協力における重点施策

重点施策	計画策定時の状況 (平成27年度実績)	推進状況					目標 (目標年度：令和2年度)
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	
図書館と学校・学校図書館の連携・協力※7	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 86% 中学校 59% 高等学校 100%	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 81% 中学校 66% 高等学校 100%	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 85.2% 中学校 65.6% 高等学校 100%	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 85.2% 中学校 54.7% 高等学校 90%	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 78.9% 中学校 53.1% 高等学校 90%	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 54.9% 中学校 3.1% 高等学校 100%	全ての小・中・高等学校で図書館と連携した活動を行う。

※7 図書館訪問、職場体験学習、学校への蔵書・資料等の貸出や出前講座（おはなし会等）等のこと。